

日本原子力学会標準委員会 リスク専門部会 レベル 3PRA 分科会

第 42 回会合議事録（原案）

日時：2024 年 11 月 5 日（火）13:00～15:00

場所：WebEx による Web 会議

出席者：

委員：津崎主査（電中研）、木村幹事（JAEA）、田原幹事（東芝 ESS）、池田（CTC）、岩波（日立 GE）、大家（NEL）、岡村（原燃）、菅野（VIC）、佐々木（電中研）、神野（原電）、斯波（JANUS）、鄭（JAEA）、西（関電）、宮原（MHI）、向原（TEPSYS）、【15 名】

常時参加者：大沼（原電 E）、角谷（JANUS）、黒川（電中研）、鈴木（NRA）、内藤（電中研）、和田山（NRA）【6 名】

常時参加者候補：小形（原電）

欠席委員：飯本（東大）、高原（JAEA）、廣内（JAEA）、横山（藤田医科大）、吉田（東電）

議題：

- (1) 人事について
- (2) 前回議事録確認
- (3) 倫理教育について
- (4) レベル 3PRA 標準改定に係る作業について
- (5) その他、今後の予定、状況連絡等

配布資料

P8SC42-1 人事について

P8SC42-2 第 41 回 L3PRA 分科会議事録(案)_コメント反映

P8SC42-3-1 2024 年倫理教育意見_L3PRA

P8SC42-4-1 新旧比較_統合_本文

P8SC42-4-2 統合_本文等_津崎主査

P8SC42-4-3 統合_本文等_池田委員

P8SC42-4-4 統合_本文等_佐々木委員

P8SC42-4-5 統合_本文等_神野委員

P8SC42-4-6 統合_本文等_西委員

P8SC42-4-7 統合_本文等_宮原委員

P8SC42-5-1 新旧比較_統合_附属書

P8SC42-5-2 附属書 M_津崎主査

P8SC42-6-1 新旧比較_統合_解説

参考資料

P8SC42-参考 1 レベル 3PRA 分科会名簿（承認前）

P8SC42-参考 2 レベル 3PRA 分科会名簿（承認後）

議事概要

分科会開始時点において委員 20 名中 14 名が出席しており、本会議が決議に必要な定足数を満たしていることを確認した。

1. 人事について(P8SC42-1)

・常時参加者について

以下の1名の常時参加者の登録が、反対者なし（全員賛成）によって承認された。

- ・小形 好弘（日本原子力発電）

以下の1名の常時参加者の登録解除が報告された。

- ・森井 桂（日本原子力発電）

2. 前回議事録確認 (P8SC42-2)

第 41 回議事録案について、承認された。

3. 倫理教育について

未受講者は、講義資料で受講のうえ、津崎主査、木村幹事、田原幹事へ連絡のこと。

4. レベル3PRA標準改定に係る作業について

P8SC42-4-1、P8SC42-5-1 に基づいて、「てにをは」に関する部分を省き、指摘箇所の確認、及び議論の必要な箇所について説明・議論・決定がなされた。

【共通】

- ・「以下の」ではなく、JIS に従い、「次の」にする。
- ・読点“、”は、“，”（カンマ）に統一する。
- ・元素名の「よう素」は、カタカナ（「ヨウ素」）ではなく、ひらがな（「よう素」）とする。
- ・「FP」は、「放射性物質」とする。必要に応じ、適宜「など」を追記する。
- ・4桁以上の数値にはカンマを入れる。
- ・単位の後のスペースは、削除する。
- ・「すること」という表現は、JIS に従い、「する」と記述する。
- ・「（以下、XXX とする）」などの省略の書き方は左の通りに統一する。用語集にある単語は、「以下、XXX とする」と記載する必要はない。
- ・確認できない「参考文献」があるので、現在の取得可否状況を確認し、必要に応じて修正すること。木村幹事が入手できなかった参考文献を指摘しているのので、各章担当者は、入手可能な文献であるかどうか確認すること。
- ・JIS に従い、「X～Y 単位」といった数値等の幅の表現は「X 単位～Y 単位」とする。(1

km～10 km など)

- ・「カテゴリー」は「カテゴリ」とする。
- ・「数十年」とか「数百年」とかは一つの単語になるので「数10年」「数100年」などとはしない。
- ・「パーセント」は、「%」（記号）表記とする。
- ・「健康への影響」などの表記揺れがあるので、「健康影響」で統一する。
- ・本文と付属書間で、式中の変数が違う記号が使われているかどうか確認して、適宜修正すること。
- ・表中の注記を*（アスタリスク）で表記するのはJISにそぐわないので適宜修正する。
- ・指摘事項を記入した今回の配布資料も参照して、適宜、各担当部分を修正する。

【まえがき】

- ・まえがきの「又は」あるいは「及び」は章担当で議論する。
- ・「降雨」は、雪も含めた「降水」とする。

【6章】

- ・「原則として」という表現は、JISでは避けるべきとされる表現だが、本文の内容を踏まえ「原則として」のままとする。
- ・「プルームを複数回」は、「プルームを複数」とする。
- ・「事故シーケンスごとに、放出エネルギーを設定する」は、「放出プルームごとに、放出エネルギーを設定する」とする。

【9章】

- ・「農業センサス」は、正式名称の「農林業センサス」とする。

【11章】

- ・移転は長期の防護対策であり、放射性雲通過後の対応のため、「放射性雲」は削除する。

【15章】

- ・「モンテカルロ法」と「LHS法」を区別するかというコメントに対しては、モンテカルロ法に限定する主旨では無いのでその点を考慮する。「パラメータ値の確率分布を入力」とのつながりも踏まえ、「モンテカルロ法」を用いない表現も含め修正案を検討する。

【16章】

- ・16.2.3.1 満たすべき要件と 16.2.3.2 手順及び手法について、「外部利用」に関して、その定義、及び言及の必要性等も含めて担当者が検討し、文章の修正を図る。

【付属書 E】

- ・「平坦」、「平たん」について、どちらが正しいか確認して適宜修正する。

【付属書 F】

- ・式ごとに参照文献が違う場合、修正案を参考にして、わかるように修正する。

【付属書 I】

- ・「重篤な確定的影響」は「重篤な組織反応（確定的影響）」とする。

【付属書 L】

- ・「評価格子上」と「評価格子」と表現が揺れており、どちらが適切か主旨を踏まえ修正を

検討する。使い分けが可能であれば併用で良い。

- ・ L.4 の文章の順番のコメントは反映する。
- ・ L.4 について予測するのが容易であると読める箇所は誤解を招かないように修正する。

【付属書 M】

- ・ M.1 について「不確実さを避ける」ではなく「複雑化を避ける」ではないか、本文の内容踏まえ修正を検討する。
- ・ 「グランドシャインに対する」という表現に統一する。
- ・ h) ウェザリングの表題を修正する。
- ・ M.2 の *Cw21* と *Cw1* とが独立に設定できないため、定義式を確認して修正する。
- ・ i) 式の係数説明は、表 M.22 との整合を確認のうえ修正する。
- ・ M.2 の「IAEA 技術報告シリーズ～」の箇所は削除する（表 M.23 は削除する）。参考文献の番号が変わる。
- ・ LD10, LD50, LD90 は初出になるので説明を追加する。LD50 は初出ではないが離れているので説明を追加する。
- ・ V 値は 12 章に説明があるが、離れているので付属書でも説明を追加する。
- ・ DDREF も説明を追加する。
- ・ 参考文献 16 については R6 年のものがあるが、最新が適しているかは確認し、適切な方を選ぶ。
- ・ “散 y” は、“ σy ” に修正する。
- ・ 表 M.6 は左列ラベルに「粒径」を追記する。
- ・ 表 M.7 は左列ラベルに「風速」を追記する。
- ・ 表 M.11 の「降水量/」と「降水時間」の罫線は不要なので削除する。
- ・ 図 M.6 の「DDREFA」と「DDREF」は、原文にあたって確認する。
- ・ 表 M.16 について、大きい値～小さい値の順番になっているが、主旨を確認のうえ、小さい値～大きい値の順番とする。
- ・ 表 M.22 について、単位は追記し、原文の通りの記載（換算等はしない）をする。
- ・ 表 M.24 は、大小の並びは、新しい原文のほうに合わせる。

【付属書 O】

- ・ O.4 についてマイルから km の換算を括弧書きで併記しているが、基本は原文の表記を優先し、括弧書き等で併記する場合は丸めもあるので「約」を付す。
- ・ 表 O.1（事故シナリオの情報）があった方がいいが、原典を確認したうえで、本文か表への注記の追記を検討する。
- ・ 表 O.6 の注記はこのままだとわかりにくいので説明の追記を検討する。

3. その他、今後の予定、状況連絡等

- ・ 再度新旧対応表をまとめた最新版をアップする。それに基づいて、各担当の章でチェックを進め、もう一度、各章の最新版をアップしてもらったあと、統合版を再作成して、

リスク専門部会での中間報告に臨む。

- ・標準文案修正締め切り：1/22(水)(ファイルの取り扱い等は別途連絡)。
- ・次回の分科会は2025年1月29日(水)～31(金)を予定する(後日調整)。

追記)

- ・さくらぼけっとの第42回分科会資料フォルダにあるそれぞれの指摘事項ファイルを参照に修正を進めること。
- ・特に附属書A C J Nの指摘事項は資料P8SC42-4-4を参照のこと。また、各解説の指摘事項は資料P8SC42-6-1を参照のこと。
- ・13章は構成を最新化のうえ、指摘事項について修正のうえ上記のとおり提出のこと。
- ・別途全体的な指摘事項(文言の統一)などがある場合は都度メール等にて周知すること。

以上